

地域での生活を始めよう

グループホーム イエール福住

平成23年6月、札幌市豊平区にグループホーム イエール福住が開設されました。病気や障害のため、福祉的な支援を必要とする方が入居し、それぞれの希望を持って地域での新しい生活をスタートさせています。

様々な希望を持ち 支援を求めて入居

「イエール福住」はワンルームマシンションタイプの共同生活の場で、地域生活を始めるにあたっての実際的な手立てとして「住む場所」と「福祉的な支援」を提供しています。世話をとして精神保健福祉士が24時間常駐し、身近に専門家を活用でき、入居者が相談しやすく安心できる環境です。

主に統合失調症の方やうつ病などの精神障害を抱える方が入居されています。それなりに「(病気に振り回されていた)昔のようになりたくないから、生活のリズムを保つて暮らしが続けたい」「お金の使い方を相談したいし、薬の飲み忘れをなくし

たい」「(病気によって)こだわりや気にし過ぎることがあって、生活に支障がでるので相談にのつしたい」「やがては就職してみたい」などの希望を持ち、具体的な支援を求めてグループホームに入居されています。

入居されている方の毎日の生活は、大きな出来事の連続ではなく、むしろ単調な小さな事柄の連続だと思います。例えば、日常生活に関する相談や手伝いの中はティケアや作業療法などに通い、生活のリズムを崩さず、自らの役割と集中して楽しめる作業に取り組んでいる人、就労継続支援事業所(作業所)に通い、就労経験を通して社会と関わる人をもち、意欲をもつて取り組んでいる人がいます。

・健康管理の手伝い(服薬支援、通院に関する支援)

・生活習慣の見直しの手伝い

・食事の提供、調理の練習

・金銭管理に関する相談や手伝い

・日常生活に関する相談(例:ゴミの分別、近所の方との付き合い方など)

・関係機関への橋渡し(相談支援事業所、就労継続支援事業所、地域活動支援センターなど)

・地域活動支援センターなど

・事業所、就労継続支援事業所、

・関係機関への橋渡し(相談支援事業所、就労継続支援事業所、地域活動支援センターなど)

・地域活動支援センターなど

・事業所、就労継続支援事業所、